

しんあい

季刊

2022年(令和4年)9月20日発行 第123号 ◆編集と発行 しんあい編集部

社会福祉法人
多摩同胞会

〒183-0042 東京都府中市武蔵台1-10
TEL042-367-8801

多摩同胞会のホームページでは、
ブログを毎日更新しています。

<https://www.tama-dhk.or.jp/>
をぜひご覧ください！



季節ごとに趣向をこらしてお客様をお迎えしています。
ほほえみプラザの玄関に向日葵の花と笑顔が咲きました。(岩本町ほほえみプラザ)

泉苑

- ・特別養護老人ホーム信愛泉苑
- ・高齢者在宅サービスセンター 泉苑ケアセンター
- ・府中市地域包括支援センター泉苑

緑苑

- ・養護老人ホーム信愛寮
- ・特別養護老人ホーム信愛緑苑
- ・府中市地域包括支援センター緑苑

あさひ苑

- ・府中市立特別養護老人ホームあさひ苑
- ・府中市立あさひ苑高齢者在宅サービスセンター
- ・府中市地域包括支援センターあさひ苑
- ・府中市高齢者住宅うらら多磨

神田事業所

- ・特別養護老人ホームかんだ連雀
- ・かんだ連雀高齢者
在宅サービスセンター
- ・高齢者あんしんセンター神田
- ・千代田区立岩本町ほほえみプラザ
- ・千代田区立かがやきプラザ
相談センター

児童福祉

- ・母子生活支援施設網代ホームきずな
- ・母子生活支援施設白鳥寮
- ・子ども家庭支援センターしらとり
- ・府中市子ども家庭支援センターたち

- ◆ 社会福祉法人を考える14
- ◆ 2021年度(令和3年度)
事業報告及び決算報告
- ◆ 僕たち育児休業しました
- ◆ 施設だより
「〇〇の秋み～つけた！」



社会福祉法人 を考える 14

～当法人の自己紹介② ガバナンス体系と法人経営～



理事長 鈴木恂子

当法人は、法人本部を府中市武蔵台におき、本部に泉苑としらとりがあります。「家族を支援します」という法人の役割を果たすため高齢者福祉・介護と児童福祉・子育て支援を両輪とした本部施設の表札は「家族支援センター」です。

高齢部門は、府中市に泉苑の他、緑苑とあさひ苑(府中市指定管理)、千代田区にかんだ連雀と岩本町ほほえみプラザ(千代田区指定管理)、かがやきプラザ相談センター神田地域担当(千代田区委託事業)があります。

児童部門は、府中市内にしらとりの他、府中市子育て支援センターたち(府中市委託事業)、府中市外に母子生活支援施設網代ホームきずながあります。

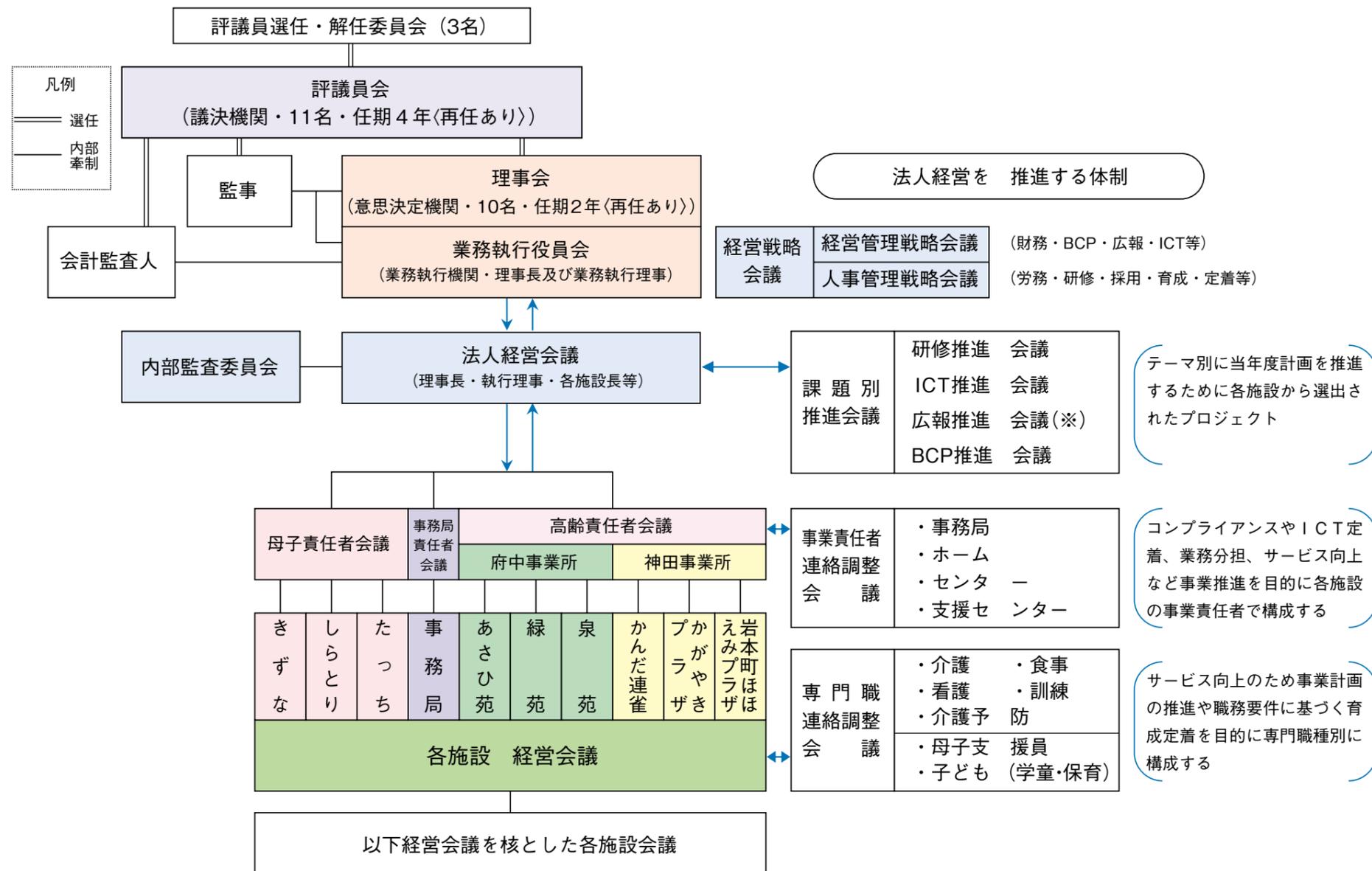
本部は、母子生活支援施設から始まり、養護老人ホーム、特別養護老人ホームを開設したので、母と子と高齢者の合同の行事や地域のみなさまも交えた納涼祭やバザーなどが恒例行事でした。職員の互助組織のあゆみ会の歴史も古く、50年前から全施設合同で旅行やレクリエーションを職員の家族ぐるみで楽しんでいました。

このように法人全体での活動が定着していたことが土壌となり、1993(平成5)年あさひ苑、翌年に緑苑が開設し、市内3拠点になった頃から当然のように高齢施設・児童施設の施設横断的会議がスタートしました。高齢福祉部門は介護保険制度施行(2000年4月)以降、事業単位の管理体制が求められ、事業別の推進会議(連絡調整会議)と専門職の職種別会議が発足しました。ヨコラインとタテラインの接点となるのが、法人経営会議です。タテのラインは各施設経営会議、さらにそのもとに施設ごとの会議が組織されています。

会議体系の目的は、事業計画のPDCAのサイクルをまわすことですが、全体に通底するのが法人の理念です。法人の理念は、目には見えないDNAとして全体をつないでいます。

現在、各会議録はグループウェア上で開示しているほか、業務執行役員と施設長、管理職の業務上の連絡はLINEWORKSにて発信、共有し、即意見交換等が可能になりました。

社会福祉法人多摩同歩会 ガバナンス体系



2017(平成29)年度の社会福祉法改正に伴い、社会福祉法人のあり方が整備され、事業を束ねる経営主体として明確になりました。

○評議員会
 最高議決機関。評議員は、別に設置する評議員選任・解任委員会にて選任されます。候補者選出構成は、次のとおり。

- (1) 学識経験者(高齢福祉・児童福祉) 2名
- (2) 法人施設所在の自治体の社会福祉協議会 2名
- (3) 法人各施設の運営協議会 7名

○理事会
 法人の意思決定機関として責任を負い監事も出席します。理事・監事は評議員会が選任します。

○業務執行役員会
 業務執行機関として、理事会と施設を結びます。理事長と業務執行理事で構成します。業務執行理事は、事務管理、高齢、母子の各業務を担当します。事務管理担当理事は事務局長として副理事長を兼務しています。

○経営戦略会議
 業務執行役員会のもとで、法人の基礎となる課題や中長期計画案の策定等を検討します。法人経営会議メンバーが3つのグループにわかれ、2つの経営戦略会議と内部監査委員会を構成します。

○法人経営会議
 法人と各施設、事業をつなぐハブとして機能します。業務執行役員と各施設の施設長等と事務局本部の事務局長で構成し、実務上の決定機関になっています。

○会計監査人
 法人の規模により特定社会福祉法人に該当するため、監査法人を会計監査人としておいています。

○監事
 理事の職務の執行を監査し、監査報告書を作成します。いつでも理事、職員に事業の報告を求め、調査することができます。

○内部監査委員会
 各事業単位に、時期を定めて内部監査委員のもとで相互チェックを実施、報告書を共有し、事業の改善に役立てます。

2021年度決算報告概要

■決算報告（単位：千円）

資金収支計算書		（自）令和3年4月1日（至）令和4年3月31日	
勘定科目		決算	
事業活動収入計	(1)	3,388,431	
事業活動支出計	(2)	3,332,650	
事業活動資金収支差額	(3=1-2)	55,781	
施設整備等収入計	(4)	26,188	
施設整備等支出計	(5)	62,434	
施設整備等資金収支差額	(6=4-5)	△ 36,246	
その他の活動収入計	(7)	87,392	
その他の活動支出計	(8)	221,760	
その他の活動資金収支差額	(9=7-8)	△ 134,368	
予備費支出	(10)	0	
当期資金収支差額合計	(11=3+6+9-10)	△ 114,833	
前期末支払資金残高	(12)	590,881	
当期末支払資金残高	(11+12)	476,049	

■事業活動計算書（自）令和3年4月1日（至）令和4年3月31日

勘定科目		決算	
介護保険事業収益		2,611,243	
老人福祉事業収益		201,400	
児童福祉事業収益		378,504	
その他の事業収益		172,196	
経常経費寄附金収益		2,648	
その他の収益		5,420	
サービス活動収益計	(1)	3,371,410	
人件費		2,370,788	
事業費		498,077	
事務費		456,396	
利用者負担軽減額		503	
減価償却額		240,097	
国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 139,195	
徴収不能額		0	
徴収不能引当金繰		585	
その他の費用		0	
サービス活動費用計	(2)	3,427,252	
サービス活動増減差額	(3=1-2)	△ 55,841	
サービス活動外収益計	(4)	17,021	
サービス活動外費用計	(5)	7,034	
サービス活動外増減差額	(6=4-5)	9,987	
経常増減差額	(7=3+6)	△ 45,854	
特別収益計	(8)	26,641	
特別費用計	(9)	21,401	
特別増減差額	(10=8-9)	5,240	
当期活動増減差額	(11=7+10)	△ 40,614	

■貸借対照表（令和4年3月31日現在）

資産の部		負債の部	
流動資産	689,799	流動負債	356,357
固定資産	7,437,429	固定負債	424,686
基本財産	4,418,870	負債の部合計	781,043
その他の固定資産	3,018,559	純資産の部	
		基本金	1,648,247
		国庫補助金等特別積立金	2,218,743
		その他の積立金	2,259,978
		次期繰越活動増減差額	1,219,216
		（うち当期活動増減差額）	△ 40,614
		純資産の部合計	7,346,184
資産の部合計	8,127,227	負債及び純資産の部合計	8,127,227

■決算概況

・2021年度は、泉苑に受難が重なった年であり、その影響が法人全体の決算に反映しました。

・泉苑では季刊しんあい119号にて「社会福祉法人を考える10～新型コロナウイルス感染症と～その2（当法人内のうごき）～」にて報告されているとおり、2021年5月15日～6月20日終息宣言まで、新型コロナウイルス感染者が発生し、他施設からの応援を得て、乗り切りました。この間、併設の短期入所生活介護や通所介護、認知症対応型通所介護は事業休止となりました。事業休止による減収や、保健衛生費の増、応援職員も含めた特別手当の支給などが数字上に反映しています。

加えて、前年度末に発生した事件により、約1年間、泉苑の特別養護老人ホームにて新規入所の受け入れを停止していたことの影響が甚大でした。泉苑の特別養護老人ホームの利用実績は4月：93.1%→3月：67.9%に大幅に減少しました。サービス活動収益計は、約△8,300万円の減収となりました。

・またあさひ苑も2022年2月～3月に特別養護老人ホームにて集団感染が発生したこと等により、約△1,000万円の減収となりました。

法人全体のサービス活動収益計は、33億7,141万円で、泉苑等の減収のほか、前年度は法人本部拠点に高額の寄附金等があったこともあり、前年度に比べて△1億4,500万円以上の大幅な減収となりました。

・一方、費用については、法人全体のサービス活動費用計は、34億2725万円、前年度より+479万円の増にとどまりましたが、人件費は増となりました。

・人件費は26億1124万円、減収となっても固定費化しているため収益の約7割を占めています。職員の給料、派遣職員費、法定福利を中心に前年度比+4,300万円の増となりました。

・事業費は、利用実績減に伴い給食費は減、前年度は補助金による感染対策用品等を購入したため総額では前年度より減となりましたが、電気料金の単価増等により水道光熱費が急速に膨張しています。事務費も同様に前年度補助金による物品購入のため、全体では減となりました。ただ岩本町ほほえみプラザの送迎委託業務をはじめ、業務委託費は増傾向です。

・経営上の収益状況を端的に表す経常増減差率率は、2019年度0.65%、2020年度は3.2%でしたが、2021年度は経常増減差額がマイナスのため△2.0%となりました。

・資金収支計算書における事業活動資金収支差額は5,578万円ですが、当期資金収支差額は△1億1483万円であり、法人全体で赤字決算となりました。このうち泉苑の赤字が△7,015万円、過去の収支差額の累計である前期末支払資金残高にて補填し、併せて次年度の夏季賞与の財源を確保するために賞与積立資産の積立を行いました。その他、信愛寮としらとりにて施設整備等積立資産を積み立て、前期末支払資金残高を充当しました。

・2021年度は、特殊事情が重なった特異な年度とし赤字については前期末支払資金残高により充当し、のりきりました。次年度以降の回復は最優先課題です。

■会計監査人監査

特定社会福祉法人として、2016年度からPwCあらた有限責任監査法人による会計監査人監査を受けています。2021年度は5年度目となりましたが、感染が一時おちついた時期に拠点往査を実施し、主にオンラインにて監査が行われました。

監査報告会（2022年6月3日）にて、「無限定適正意見」を受け、法人運営や決算の適正性について客観的に担保されました。

2021年度事業報告概要

2021年度は、役員の変更期であり、理事及び監事全員が再任され、理事長、業務執行理事も再任が決定しました。評議員は11名のうち8名が再任、3名が新任となりました。法人を取り巻く状況は、前年度からの新型コロナウイルスの感染は強弱を繰り返しながらも収まることはなく、一部の施設ではクラスター化により事業運営に多大な影響が生じる結果となりました。

また、泉苑における介護事故を発端としたその後の状況は、法人全体にも影響する想定外の対応が求められることとなり、円滑な利用者サービスを維持するには、大変厳しい職場環境が続き、こうした状況は収支に直結し繰越金の取崩しを余儀なくされ、一段と困難な財務状況となりました。

業務運営面では、ICT機器の導入推進に備えたICT活用促進研修の実施やオンライン開催での職員採用説明会の準備等の取組を進めました。

内部管理面では、内部管理の基本となる組織規程を整備するとともに、執行体制の強化を目的として、会議体系の見直しを行うための定款施行細則の改正を行いました。終わりのないウイルスへの対応や介護事故からの混乱の中で、役職員にとっては厳しい一年となりました。

1) 職員状況

2021年3月31日の在籍正職員は286名（高齢施設250名・母子施設36名）平均勤続年数12.2年、平均年齢41.5歳、男女比：男性44%、女性56%

入職者22名（高齢施設18名・母子施設4名）、退職者19名（高齢施設14名・母子施設5名） 離職率6.44%（2019年度5.14%、2020年度7.53%）

産休、育児休業制度を10名（うち男性職員2名）が利用しました。

採用試験は年間7回実施（応募者36名、採用内定24名、合格率66.7%）新卒者3名を採用しました。

働きやすい職場環境の整備に向けて就業規則、準職員就業規則、給与規程等の改正を行い、コロナ禍に備えテレワーク就業細則を施行し活用することができました。

2) 新型コロナウイルス感染症の感染状況等

2021年度の陽性者数

利用者（入所）66名（泉苑11名・あさひ苑43名・きずな2名・しらとり10名）

利用者（在宅）10名（泉苑2名・あさひ苑1名・かんだ連雀3名・岩本3名・たち1名）

職員 54名（泉苑13名・あさひ苑26名・緑苑2名・かんだ連雀4名・岩本1名

きずな1名・しらとり3名・たち2名・事務局2名）

東京都等の援助により2021年11月からは高齢者施設の職員が週1回のPCR検査を行いました。

3) 2020年度末に発生した介護事故の対応について

2020年度末に発生した信愛泉苑の介護事故への対応は、結果として10ヶ月余りの期間を要することになりました。こうした事故が二度と起こらないよう法人の全施設において万全の対応に取り組みました。

■各施設の取組（高齢施設）

1) 泉苑

ご利用者の事故への対応やコロナ感染対策に追われましたが、発生状況の検証・改善策の検討を重ねる中で職員のリスクマネジメント意識が高まり、部署間の情報共有、連携の重要性が強化されました。職員が自主性を発揮して「新たな泉苑」を構築したい。

2) あさひ苑

特養でクラスターが発生し厳しい1年間ではありましたが、感染対策の中で部署間連携が強化され、在宅高齢者支援に関しては、食事などを通じた見守りの重要性を再認識しました。感染対策の徹底とBCPの見直しを行い次年度につなげます。

3) 緑苑

ショートステイは緊急の受け入れ等により目標の実績を達成しました。全室個室対応がコロナ禍のご利用者の安心材料となりました。養護老人ホームでは高齢虚弱化したご利用者の意欲や脚力低下が進み通院援助等を見直しました。

4) かんだ連雀

多職種による連携が功を奏し、事業実績が安定し収入は予算103.4%を達成しましたが、人材紹介料や派遣人件費がかさみ結果的に財政を立て直すことができませんでした。

5) 岩本町ほほえみプラザ

コロナによる利用控え、近隣新設開設により全事業において予算を達成することができませんでした。その中ではSNSを活用しフェイスブック等での情報発信、PR活動により地域への周知に努めました。

6) かがやきプラザ相談センター

職員の勤務体制をコロナ禍前に戻しました。医療機関に受け入れられないご利用者に対し在宅療養ができるように支援しました。

■各施設の取組（児童・母子施設）

1) きずな

市内各所への送迎支援の定期的な実施、建物内侵入防止センサー設置、駆け付け警備を導入し夜間体制の安全を図りました。

2) しらとり

竣工から25年経過し、修繕の必要性が高まり修繕計画策定のため建物検査を依頼しました。コロナ禍で計画通りの実施ができなくなった行事は、分散型などに工夫して実施しました。

3) たち

感染症対策を徹底しながら、季節や毎月の行事を行いました。次年度の府中市相談部門の移転を踏まえ役割分担等の打合せをすすめました。

社会福祉法人 多摩同協会 2021年度 事業実績報告一覧

(自2021年4月1日～至2022年3月31日)

★高齢者施設 (泉苑・あさひ苑・うらら多磨・緑苑・連雀・岩本・かがやき)

施設入所概況	特別養護老人ホーム 泉苑		特別養護老人ホーム あさひ苑		特別養護老人ホーム 信愛緑苑		特別養護老人ホーム 信愛緑苑		特別養護老人ホーム かんだ連雀		特養計		養護老人ホーム 信愛寮		高齢者住宅 うらら多磨		グループホーム いわもと		ケアハウス いわもと			
	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比
定員	110		100		60		20		59		349		50		13		9		20			
利用実績(%)	79.4		94		93.5		94.2		97.0		89.8		88.3		94.9		77.5		86.3			
平均年齢	88.2		86.5		89.6		90.1		88.0		88.3		82.3		84.8		89.9		82.2			
入所1月以内	2	3%	2	3%	1	2%	1	6%	1	2%	7	2%	0	0%	0	0%	2	22%	0	0%		
1～6月	0	0%	3	4%	10	17%	2	11%	3	5%	18	6%	3	7%	3	23%	0	0%	0	0%		
6月～1年	0	0%	9	12%	5	9%	4	22%	6	10%	24	8%	1	2%	0	0%	2	22%	3	18%		
1年～3年	27	36%	27	36%	13	22%	5	28%	15	25%	87	32%	13	29%	2	15%	1	11%	11	65%		
3年～5年	20	26%	13	18%	15	26%	2	11%	12	20%	62	21%	6	13%	4	31%	2	22%	2	12%		
5年以上	27	36%	20	27%	14	24%	4	22%	22	37%	87	31%	22	49%	4	31%	2	22%	1	6%		
平均入所年	4.4	100%	3.6	100%	3.2	100%	3.0	100%	4.4	100%	3.7	100%	6.8	100%	4.2	100%	3.5	100%	2.0	100%		

施設入所者状況	泉苑		あさひ苑		信愛緑苑		かんだ連雀		特養計		信愛寮		うらら多磨		グループホーム		ケアハウス	
	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比
介護度																		
自立											31	69%	1	8%	0	0%	3	18%
要支援1											4	9%	2	15%	0	0%	4	24%
要支援2											1	2%	4	31%	0	0%	4	24%
要介護1	1	1%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%	2	1%	3	7%	3	33%	2	12%
要介護2	7	9%	5	7%	0	0%	1	6%	2	3%	15	5%	3	23%	3	33%	3	18%
要介護3	23	30%	36	49%	14	24%	3	17%	25	42%	102	34%	4	9%	0	0%	3	33%
要介護4	18	24%	23	31%	23	40%	9	50%	19	32%	91	33%	2	4%	0	0%	0	0%
要介護5	27	36%	10	14%	21	36%	5	28%	12	20%	75	28%	0	0%	0	0%	0	0%
平均介護度	3.8	100%	3.5	100%	4.1	100%	3.9	100%	3.6	100%	3.8	100%	100%	100%	2.7	100%	100%	

短期入所事業	泉苑		あさひ苑		信愛緑苑		府中地区計		かんだ連雀		岩本町		神田小計	
	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比
定員	15		10		10		35		0		20		20	
利用実績(%)	63.8		76.2		87.5		74.1		0		79.5		79.5	
要支援1	1	1%	1	1%	0	0%	2	1%	0	0%	0	0%	0	0%
要支援2	4	4%	7	8%	2	4%	13	5%	0	0%	2	2%	2	2%
要介護1	23	22%	20	22%	13	28%	56	23%	0	0%	20	17%	20	17%
要介護2	27	26%	21	23%	11	23%	59	25%	0	0%	34	29%	34	29%
要介護3	25	24%	14	16%	8	17%	47	20%	0	0%	39	33%	39	33%
要介護4	14	14%	16	18%	9	19%	39	16%	0	0%	16	14%	16	14%
要介護5	9	9%	11	12%	4	9%	24	10%	0	0%	7	6%	7	6%
平均介護度	2.5	100%	2.2	100%	2.5	100%	3.0	100%	0.0	0%	2.6	100%	2.6	100%

信愛寮	
人	構成比
4	11.9%
0	0%
3	75%
1	25%
0	0%
0	0%
0	0%
0	0%
0	0%
100%	

他19名自立又は未申請

通所介護事業 (含予防)	泉苑		あさひ苑		緑苑		府中地区計		かんだ連雀		岩本町		神田地区計		合計	
	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比
定員(1日)	30		50				80		15		30		45		125	
利用実績(%)	67.1		66.1				66.5		68.9		63.9		65.6		66.1	
要支援1	4	3%	14	9%			18	6%	1	4%	1	1%	2	2%	20	5%
要支援2	11	9%	13	8%			24	9%	1	4%	4	4%	5	4%	29	7%
要介護1	37	31%	55	35%			92	33%	9	33%	25	25%	34	27%	126	31%
要介護2	28	23%	42	27%			70	25%	7	26%	32	32%	39	31%	109	27%
要介護3	24	20%	10	6%			34	12%	4	15%	20	20%	24	19%	58	14%
要介護4	9	8%	17	11%			26	9%	4	15%	8	8%	12	10%	38	9%
要介護5	7	6%	7	4%			14	5%	1	4%	9	9%	10	8%	24	6%
平均介護度	2.2	100%	1.7	100%			1.9	100%	2.1	100%	2.4	100%	2.3	100%	2.0	100%

通所介護事業 (認知)	泉苑		あさひ苑		緑苑		府中地区計		かんだ連雀		岩本町		神田地区計		合計	
	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比
定員(1日)	10		12				22				12		12		34	
利用実績(%)	26.4		75.9				53.4				30.3		37.8		47.9	
要支援1	0	0%	0	0%			0	0%			0	0%	0	0%	0	0%
要支援2	0	0%	0	0%			0	0%			0	0%	0	0%	0	0%
要介護1	4	29%	12	33%			16	32%			1	7%	1	7%	17	27%
要介護2	2	14%	7	19%			9	18%			3	21%	4	29%	13	21%
要介護3	3	21%	10	28%			13	26%			8	57%	5	36%	18	29%
要介護4	4	29%	4	11%			8	16%			2	14%	2	14%	10	16%
要介護5	1	7%	3	8%			4	8%			0	0%	1	7%	5	8%
平均介護度	2.7	100%	2.4	100%			2.5	100%			2.8	100%	2.8	93%	2.7	100%

包括支援センター相談件数	泉苑		あさひ苑		緑苑		府中地区計		かんだ連雀		かがやき	
	件	構成比	件	構成比	件	構成比	件	構成比	件	構成比	件	構成比
来所	214		107		270		591		524		716	
電話	3,137		3,038		2,778		8,953		5,163		3,862	
訪問	1,194		1,467		1,379		4,040		5,464		556	
その他	805		1,014		681		2,500		3,739		334	
合計	5,350		5,626		5,108		16,084		14,890		5,468	
相談実人数	1,133		1,463		737		3,333		3,159		1,092	

包括予防プラン	泉苑		あさひ苑		緑苑		府中地区計		かんだ連雀	
	件	構成比								
要支援1	555	26%	1,098	45%	510	29%	2,163	34%	419	39%
要支援2	1,604	74%	1,345	55%	1,235	71%	4,184	66%	645	61%
合計	2,159	100%	2,443	100%	1,745	100%	6,347	100%	1,064	100%
うち(介護予防ケアマネジメント)	792	37%	945	39%	655	38%	2,392	38%	678	64%

居宅ケアプラン	泉苑		あさひ苑		府中地区計		かんだ連雀	
	件	構成比	件	構成比	件	構成比	件	構成比
要支援1	35	3%	35	3%	70	3%	0	0%
要支援2	85	7%	60	5%	145	6%	12	1%
要介護1	448	37%	438	36%	886	37%	565	41%
要介護2	332	27%	378	31%	710	29%	326	24%
要介護3	149	12%	77	6%	226	9%	263	19%
要介護4	111	9%	137	11%	248	10%	105	8%
要介護5	51	4%	85	7%	136	6%	96	7%
合計	1,211	100%	1,210	100%	2,421	100%	1,367	100%

*要支援1・2は一部包括予防プランと重複

訪問介護事業	うらら多磨		かんだ連雀		定期巡回時対応型訪問介護看護		千代田区在宅支援ホームヘルプサービス	
	人	構成比	人	構成比	人	構成比	人	構成比
経過的要介護	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
要支援1	2	5%	11	18%	0	0%	0	0%
要支援2	12	27%	15	24%	0	0%	0	0%
要介護1	15	34%	10	16%	3	36%	1	25%
要介護2	10	23%	14	23%	4	29%	2	50%
要介護3	3	7%	3	5%	6	21%	0	0%
要介護4	1	2%	5	8%	1	7%	1	25%
要介護5	1	2%	4	6%	0	7%	0	0%
計	44		62		14		4	
平均介護度	1.4	100%	1.4	100%	2.2	100%	2.0	100%

介護予防推進事業 (府中地区)	泉苑		あさひ苑		緑苑		府中地区計	
	件	構成比	件	構成比	件	構成比	件	構成比
元気アップ	69		78		119		266	
登録者数	63		42		192		297	
延べ人数	450		349		710		1,509	
第1期アップ	59		38		38		13	

施設 だより



食べる？運動する？作ってみる？

「○○の秋み〜つけた！」

泉苑

防災の秋

泉苑ではもしもの時に備えて、年間計画に従って様々なテーマで防災訓練を行っています。非常食はどこに何が置いてあるのか、いつ使うのか、お湯はどうやってどこで沸かすのか…、等様々なことを想定していざという時に食事の提供をできるように真剣に取り組んでいます。



今回は炊き出しをテーマに、プロパンガスボンベを使って湯沸かしの訓練を行いました。ガスを設置し、五徳の上に鍋を置いてお湯を沸かしたのですが、想定していたよりも時間がかかってしまい、実際にやってみないと分からないことが多くあると実感しました。災害等、何もないことが一番ですが、何か起こってしまった時にも焦らない、困らない、足りないことがないようにこれからも備えていきます。

食事係(管理栄養士) 菊嶋 希予乃

緑苑

スポーツの秋 食欲の秋

緑苑(特養)の東館では風船パレーなど身体を動かす時間を設けています。風船パレーのメリットは、風船は上から来る事が多いので、おのずと自然に背筋を伸ばして、胸が開いた姿勢になり、また足を踏ん張ることで体幹が安定するなど良いことが沢山あります。軽くゆっくりと動く風船は、利き手でなくても容易に打ち返すことが可能です。色々な効能がありますが、皆様楽しんで参加され自然と笑顔が引き出され、これが一番の元気の秘訣になるのではないのでしょうか。参加する職員もご利用者様から元気を貰っています。また身体を動かした後は食欲もわきお箸の進みも良くなりま



す。このような活動を増やして食欲の秋を堪能して頂きたいと思います。ホーム介護員

村上 悟

あさひ苑

敬老の秋

今年は梅雨明けが早く、暑い日が多い夏でした。まだまだ暑い日は続きそうですが、虫の声や空模様など秋の訪れによる自然の変化も感じられます。今回は各施設からの秋のおたよりをご紹介します。

秋は何だか物悲しい季節ともいわれます。お彼岸もあるので、より一層感じるのかもかもしれません。秋には敬老週間があります。私が入職した頃、ここでは敬老の日は新年を迎えるよりおめでたいことなのだと言っていた記憶があります。近年ではなるべく多くの方が祝賀会に参加して、体への負担を少なく楽しめる工夫をしています。記念品の贈呈ではご家族からのメッセージを添えて手元までお届けします。そして、ご家族からのメッセージを読み上げると、皆さん感極まり涙していた光景を忘れることはできません。やさしさに触れこちらまで心が温かくなりました。



食事係(調理師) 伊藤 紀子



僕たち、 育児休業しました

多摩同協会では、2005年(平成17年)から一般事業主行動計画を策定・公表し、雇用環境の整備を行い次世代育成支援に取り組んでいます。第5期計画期間(2018年(平成30年)10月1日~2021年(令和3年)9月30日)は昨年度終了しましたが、この計画期間中の男性の育児休業取得者が3名(配偶者が出産した男性職員は9名)となり、男性の育児休業取得率は33%となりました。現在進行中の第6期事業計画では男性職員の育児休業取得率50%を目標にしています。

2022年4月から2023年4月にかけて育児休業制度は3回に分けて改正があり、なかでも2022年10月の改正はかなりインパクトのあるものです。これは男性の育児休業取得を促進するもので、子の出生直後の時期の柔軟な育児休業として出生時育児休業(産後パパ育休)、1歳までの育休の分割取得制度が創設されます。育児休業は、残される職場の仲間にも大きな負担がかかりますし、取得する当の本人も後ろめたい気持ちもあると思います。業務の見直しによる効率的な働き方の推進や代替職員の確保に努め、「お互いさまだね!」と助け合える職場づくりを進めていきたいと思っています。

今回は、育児休業制度を利用した2名の男性職員とその上司にお話を伺いました。

宮城 朝日
(しらとり)少年指導員。育休時は、たち地域支援ワーカーでした

お子さんの誕生日 2020年2月8日
育児休業期間 2020年4月8日~2020年5月31日

育児休業をしたと思ったきっかけは、妻の出産が新型コロナウイルスのパンデミックと重なりました。また、学校が休校となってしまった小学生の長女が長時間家で過ごすことになりました。妻の負担軽減を考えて育休取得を申請しました。

取得にあたり、職場で業務の引継ぎ等準備したことはありませんか。
コロナ禍で子ども家庭支援センターたちの交流は閉鎖していたので、大きな引継ぎ事項はありませんでした。休む前は、開館後に使用する制作物等の準備を出来る限り行いました。

育児休業中、どのように過ごしましたか。
外出することがほとんどできなかったため、洗濯や血洗い、掃除等の家事をしたり、子どもと遊びました。生まれたばかりの子どもの時間を大切に過ごすことができました。

育児休業を取得した感想は、



2カ月もの長い間、子どもたちと1日中一緒に過ごすことができ、成長を間近で見守ることができました。その間も業務を行ない、ひるば(職場)を守ってくれ、仕事復帰後も温かく迎え入れてくれた「たち」の職員には感謝しています。

センター長から宮城さんへ

「パパ育休」でたっぷりお子さんの時間を過ごすことで復帰した宮城さんは、自信をもって来所したお子さん達に関われるようになりました。子育て中のお父さんやお母さん方に共感できる場面も多くなったと感じています。

子ども家庭支援センターたち統括センター長 畑山 恭子

伊藤 裕太
(かんだ連雀ホーム介護職 リーダー)

お子さんの誕生日 2021年11月9日
育児休業期間 2021年11月12日~2021年12月12日

育児休業をしたと思ったきっかけは、

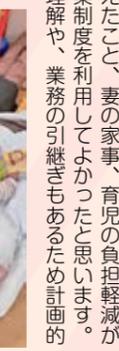
私には子どもが3人います。今回は3人目の子どもが生まれるときに育児休業を取得しました。2人目の時にも育児休業しています。1人目の時はまだ子育ての大変さを分かっていなかったこともあり、育児休業は使いませんでした。2人目、3人目の時は、妻の産後の負担が大きいことがわかっていたので決めました。

取得にあたり、職場で業務の引継ぎ等準備したことはありませんか。
私は、特養フロアのリーダーです。引継ぎは大変でした。普段自分が行っている業務を洗い出し、会議の準備や業務の送り等の段取りをまとめてフロアの職員へ引継ぎました。不在の間、チームメンバー他、多くの方の協力もあり、業務が滞ることはなかったことで、ほっとしました。

育児休業中、どのように過ごしましたか。

子どもの幼稚園の送迎等があったので、妻と育児を分担しました。夜の授乳やおむつ替えは妻が行い、その間に自分は寝て、朝の準備・幼稚園のお弁当作り、上の2人の子の送り迎え等を担当しました。少し空いた時間に部屋の模様替えが出来るかと思いましたが、そんな暇もなく何もできませんでした…。

育児休業を取得した感想は、



新生児の子どもと触れ合えたこと、妻の家事、育児の負担軽減ができたことがあって育児休業制度を利用してよかったと思います。休むにあたっては、周囲の理解や、業務の引継ぎもするため計画的に進めることが肝心です。また、日ごろからちゃんと家事を行っていないと逆に家族に負担をかけてしまうことになるので、普段から家事をやっておくことをお勧めします。

施設長から伊藤さんへ

「ライフステージ」は、時間の経過の中で不可逆的に進行します。家族との関わりを味わう絶好のチャンスは、つかみ損ねても後戻りできません。それを積極的ににつかみに行った彼の意欲に敬意を表します。

かんだ連雀 施設長 金井 英明

岩本町

音楽の秋

「秋の夕日に照る山もみじ 濃いも薄いも数ある中に」(もみじ)
 「誰かさんが見つけた」(ちいさい秋みつけた)
 「静かな静かな里の秋」(里の秋)
 「まっかだな まっかだな じたの葉っぱが まっかだな」(まっかだな秋)
 「ふけゆく秋の夜 旅の空の」(旅愁)
 「夕空はれて あきかぜふき」(故郷の空)
 秋にちなんだ歌、ついでいっぱいありますよね。皆さんは何曲ぐらいご存知でしょうか。グループホームの皆さんと一緒に歌っているところから次へと出て来ます。
 歌詞も見ないで歌える人もたくさんいて、いつも感心させられます。そして素敵な歌声にいつも魅了されます。歌い続けているとおなかやっぱりますね。
 ほほえみプラザ館長(社会福祉士) 高橋 誠



かがやき

秋と言えば 勉強の秋

ようやく夏の暑さもやわらぎ、過ごしやすい、読書や勉強にも打ち込みやすい季節になりました。私たち、かがやきプラザ相談センターは24時間365日、相談体制をとっています。どのような相談にも対応できるように、政策や制度の変更を相談者に説明できるように理解し、そして時代の変化に伴う多様な価値観に対応できるように、相談員は常に勉強を続けることが必要です。今年度は「尊敬」を学ぶことをテーマとして、勉強会を開催しています。
 今回のテーマは「ソーシャルワーカーの倫理綱領」。専門職の土台となるべき倫理綱領ですが、業務に追われてしまうと見失いがちになりますので、よい学びの機会になりました。
 相談員(介護福祉士) 福本 美希



連雀

あんしんの秋

高齢者あんしんセンター神田(千代田区神田地域包括支援センター)では、「神田で元気がながい教室」を開催し、地域で暮らす高齢者に役立つ講座を行っています。これまでは、受講者の皆さまに施設に足を運んでいただいていたのですが、今年度は町会等と連携し、高齢者あんしんセンター神田の職員が地域に向いて講座を開催することにいたしました。
 記念すべき、最初の町会向け出張講座は5月21日、西神田町会へ。町会長をはじめ、婦人部長、福祉部長や各関係者のご協力のもと、14名の参加者をお迎えすることができ、皆さん熱心に受講いただきました。
 「情報を知る事の大切さ、活用していかねければと改めて気が付いた」「福祉・介護について知らなかったことが理解できてよかった」などのお声をいただき、手応えを感じました。
 次回は秋を予定しています。今後も地域に向けて発信していき、住み慣れた地域で安心して暮らせるようお手伝いをしていきたいと思っています。
 相談員(社会福祉士) 友田 充洋



きずな

芸術の秋

きずな保育室では秋の製作をしました。製作準備として、職員が絵の具をつけた画用紙をジップロックの中に入れておくとチラチラと視線が何をしているのかと、子どもが遠くの方から職員の行動を観察しています。声をかけるとすぐに駆け寄り、興味津々な様子。ジップロックの上から絵の具を触ったり押ししてみたりして「わあ!」と不思議な感触に驚きながらも喜び、赤色と青色の2色を押しながら混ぜるとその様子をじっと見ている。
 どこを触ったらどうなるのだろうと変化を一緒に考えながら感触遊びを楽しみました。絵の具が乾いた後は職員が仕上げだけ仕上げをして、秋の代表、さつまいも、の完成!
 製作を通して子どもと一緒に秋を感じることができた一日でした。
 保育(保育士) 小林さくら



しらとり

元気いっぱい! 運動の秋

しらとりひろばでは「運動しよう」と数日間ひろば内に、トンネルやボールプール、マットを設置しました。コロナ禍に於いて講座等の開催が難しい中、遊びに来てくださるお子さんやご家族の皆さんに少しでも楽しく過ごしていただくこと企画したひとつです。当日は普段利用している親子が友人を誘いあって遊びに来てくださるなど、活気があふれていました。「いつもとちがう!」と設置遊具にすぐに気が付く子、ボールプールでじっくり遊ぶ子、マットの昇降を何度も繰り返す子など過ごし方は様々でしたが、帰る際には「楽しかった」との声が聞けました。
 これからも、ひろばのご利用者や壁面装飾や企画を通して季節を感じてもらえるよう、それらを通してコミュニケーションを取りながら多くのことを共有できるよう取り組んでいきます。地域支援ワーカー(保育士) 大谷 千夏



たっち

食欲の秋 たくさん食べて 大きくなったかな? 大きくなったかな?

おいしいたべものがたくさん旬を迎える食欲の秋は、子どもたちにも人気なサツマイモや梨などの季節ですね。
 育ち盛りの子ども達も、たくさん食べて、体も大きくなっていく時期かと思えます。
 「うちの子って、どれくらい大きくなっていくかな?」と思われる親御さんも多くいらっしゃると思います。
 たっちの総合受付にある保健室では、水・木・金曜日の10時~12時と14時~18時に身体測定を行っています。測定できる曜日と時間は決まっていますが、予約不要で測定ができます。定期的に測定に来て下さるお子さんもいるので、「大きくなっていくかな?」と職員も一緒に成長を見守っています。
 今年の秋も、たくさん食べてみんな大きくなったかな?
 総合受付(社会福祉士) 恩智 温子



ニュース III I

緑苑

介護職員初任者研修を開講します！

特定非営利活動法人ごとの会の会の主催による介護職員初任者研修（通信＋通学課程＋実習）を10月2日（日）から緑苑を会場にして開催します。

通学は15日間、学ぶのは食事、入浴、排せつの介護スキルや認知症や健康管理等の高齢者に関する基礎的な科目です。講師は、各施設の社会福祉士や介護福祉士、看護師、管理栄養士の資格を持つ、介護のベテラン職員です。研修に先立ち7月20日には講師研修で集まりました。「入浴介助は特浴槽に入ってもらいたいね」「排せつは、実際に紙おむつを着けてもらってもいいかしら」「何段階かのトロミを体験してもらいましょう」等々、講師の意気込みを感じました。

初任者研修のお問い合わせは、事務局又は緑苑までお願いします。



ニュース III II

かんだ連雀

ハナスト記録を導入しました

かんだ連雀では、2021年11月からの3か月間、「介護ロボット等の効果測定事業」に参加し、ハナスト記録（介護業務支援機器）を活用しました。職員がインカムを着用し話すことで介護記録が出来る、職員への連絡が出来る機器です。初めは業務が増加すると思いましたが、必要な部分で音声入力、申し送りに活用することで測定事業が終了する時には「記録の時間の短縮とご利用者との関わる時間が増えた」といふ職員アンケート結果が得られました。

昨年は1フロアのみで実施しましたが、今年度は特養全フロアで測定事業に参加します。職員の負担が減り、ご利用者と関わる時間が増えることを期待して検証していきます。

（かんだ連雀センター長 中村小夜子）



ニュース III III

くるみん

くるみん認定を受けました！

仕事と子育ての両立支援に取り組んでいる企業に対し「次世代育成支援対策推進法」に基づいて、2007年から厚生労働大臣が認定しているのが「くるみん認定」制度です。

くるみん認定制度は、一般事業主行動計画を策定した企業のうち、計画に定めた目標を達成し、一定の基準を満たした場合に申請を行うことによって「子育てサポート企業」として、「くるみん認定」を受けることができるものです。

当法人の第5期「一般事業主行動計画（しんあい120号で報告しています）」が基準に適合することが認められ「くるみん認定」を受けました。



ボランティアの御協力 ありがとうございます (敬称を省略させていただきます)

新型コロナウイルス感染拡大防止のため2020年2月よりボランティア活動のほとんどを中止いただいています。その中でご協力いただきました。
大間洋子 北村よしこ
児島豊 高倉祥子 根深正子 野口幸代 村井福
(2022年6月～2022年8月)

御寄贈・御寄付ありがとうございます (掲載を可とされた方のみのお名前です。 敬称を省略させていただきます)

株式会社アビック 大沢良三 公益財団法人オリックス宮内財団 一般社団法人cornerstone-SHI-ZU-E 子どもあそび場研究会 ソシオキュアアンドケアサポート 佃パートナーズ株式会社 東京都食肉生活衛生同業組合 根岸勢津子 株式会社パイロットコーポレーション 緑町睦月会 ロクシタンジャポン株式会社 相羽克昭
(2022年6月～2022年8月)

介護に関するご相談は無料ダイヤルで！

- 泉苑 老後支援 24時間
☎0120-6540-24
- あさひ苑 福祉にっこり 24時間
☎0120-2942-24

法人ウェブサイトはこちら

Facebook 更新中

採用情報サイトはこちら



編集後記

「〇〇の秋」

秋は四季の中で一番好きな季節なので、味覚も視覚も聴覚も全て使って秋を感じたいなと思います。
(きずな 高橋風子)

今年度は保育で食育に力を入れていたので、子どもたちと一緒に食欲の秋を楽しみたいと思います。
(しらとり 菅沼由香)

最近読書をする時間がとれていないので、今年読書の秋にしたいなと思います。
(たっち 恩智温子)

私の誕生日の季節です。金木犀の香りがしてくると、「あ、また一つ歳をとるなあ。」と自分の年齢を数える秋です。
(岩本 三浦明日香)

秋は3人の子どもの誕生日が続く、冬にはクリスマス。出費の秋です。
(かんだ連雀 伊藤祐太)

減量に成功した夏でしたが、食欲の秋を相手に奮闘しております。
(泉苑 堀内賢治)

「海を見に行くなら秋」暑い夏が終わった海もこの時期は人がまばらで魅力的な風景だ。
(あさひ苑 佐藤知也)

買ったままほとんど使用されていないスポーツのゲームを使ってスポーツの秋にしたいです。
(あさひ苑 玉城多美子)

前号に書いた展覧会が予想以上の大人気で予約が取れず行けなかったため、感染状況が落ち着いたから秋こそは展覧会にいきたいです。
(事務局 青木志乃)

美術館で絵を見た後、ミュージアムレストランで食事をするのが私の定番です。芸術と食欲の秋の一挙両得。
(編集長 上野廣美)